



おかげさまで

創立65周年を迎えます



2022年 あけましておめでとうございます。今年、「みやがわ書店創立65周年」を迎えます。また、『えほんと童話の店』にリニューアルして25年になります。

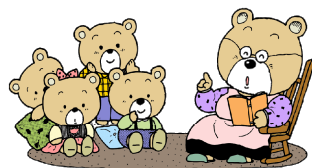
創立当時は、大型店の名のつくスーパーも書店もなく、どの町にも「本屋さん」が存在して、地域文化の発展に大なり小なり役割を果たしていたと思います。しかし、世の中は大きく変化していき、大型店やコンビニの進出、さらにネット販売などといったとてつもない時代がやってきました。そして『小さな町の本屋さん』は、試行錯誤の末、私自身の夢でもあった『子どもたちの心に栄養を』を掲げられるような絵本の専門店にリニューアルすることになりました。

おかげで、不本意で売っていた内容の雑誌や週刊誌、好むと好まざるとに関係なく配本される本にうんざりしていた気持ち等ともお別れすることができました。

さてリニューアルしたからには、今度は、絵本の専門店として、作家、編集者さらには出版社との交流は欠かせません。幸いにも当店へは、エリックカール氏をはじめたくさんの有名な作家がご来店くださり、また、みなさま方に支えていただきながら新年を迎えることができました。

これからも人との出会い、つながりを楽しみながら「絵本」をお届けしたいと思っております。今年、私自身も85歳。「さらに皆さんと楽しめることを!」と、さっそく1月に『ピアノと朗読と絵のコラボコンサート』を企画いたしました。

創立65周年のみやがわ書店、今年もどうぞよろしくお願いいたします。(孝子)



※ホームページでも紹介しています。「みやがわ書店」で検索するか下のQRコードで



えほんと童話の店 **みやがわ書店**
〒519-0505 三重県伊勢市小俣町本町163(JR宮川駅前)
電話・FAX 0596-22-4317 Eメール ehonbaba@gmail.com
定休日 毎週日曜日・木曜日 営業時間 AM10:00~PM6:00
ホームページ <https://www.miyagawaehon.com>



『ある日、オリーブの丘で』の感動を
世古景子さまより

この曲集に出会えた感動を早くお伝えしたくて、昨日は来店させて頂きました。作曲家さん三々三様の世界観があるのに、1つの物語にまとまっているところが素晴らしいです。想像がどんどん膨らんでくるような絵も素敵です。



物語を読み、絵を見て想像しながら、曲を弾いて感じるのが楽しくて、ワクワクドキドキが今も止まりません！私が子どもたちに伝えたい事はこれだ！！と感じました。

この感動を伝える為には、もっともっと物語を読み深め、作家さん、作曲家さんの表現したいことを感じたいと思っています。

私は今、この本にどっぷりはまっています(笑) 読み聞かせとカラーの絵と演奏のコラボレーションを、みやがわ書店で実現させたいです。よろしくお願いいたします。

ピアノと朗読と絵のコラボコンサート開催

1月29日(土)午後

『ある日、オリーブの丘で』は絵本仕立てのピアノ曲集です。世古さまと感動をご一緒に、当店主催で「ピアノと朗読と絵のコラボコンサート」を開催する運びとなりました。カラーイラストを上映しながら、美しい物語世界をお楽しみいただきます。ピアノ演奏は、その世古さまに。朗読は店主橋村がつとめます。イラストを描かれた本間ちひろさまより、たいへん貴重な原画もお借りしました。どうぞお楽しみに〜♪

日時：1月29日(土)
①14時~14時45分
②15時30分~16時15分
※同内容の2回公演
会場：みやがわ書店
入場無料

お話と音楽のバトン
『ある日、オリーブの丘で』
樹原涼子、轟千尋、春畑セロリ 作曲・お話
本間ちひろ 絵
音楽の友社 1,980円

お知らせ

2022 1

日	月	火	水	木	金	土
						1 休業日
2 定休日	3 休業日	4	5 紙芝居 ピッポの会 ミニ講座	6 定休日	7	8 おはなし会
9 定休日	10	11 大人のための 絵本の時間	12	13 定休日	14	15
16 定休日	17	18 おはなし会	19	20 定休日	21	22 おはなし会
23 定休日	24	25	26	27 定休日	28	29 ピアノと朗読 と絵のコラボ
30 定休日	31					

おはなし会

8日(土) 14:00~
18日(火) 11:00~
22日(土) 14:00~

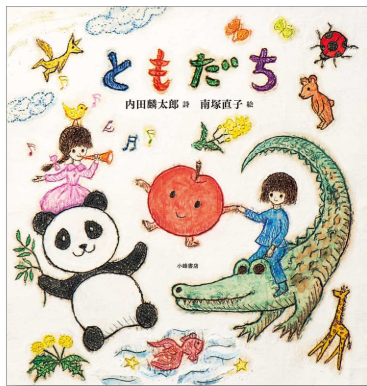


※1月4日(火)のおはなし会はお休みします(営業はしています)

1/29(土)ピアノと朗読と絵のコラボコンサート

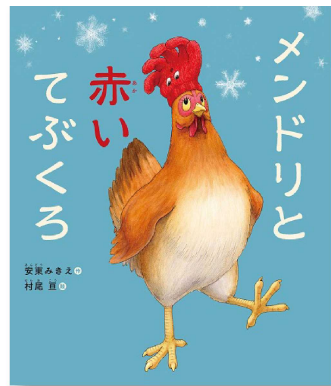
大人のための絵本の時間
11日(火) 10:00~

紙芝居ピッポの会ミニ講座
5日(水) 10:00~



「ともだち」
内田麟太郎 詩
南塚直子 絵
小峰書店 1,980円

麟太郎さん生誕80年記念!! えり抜きのかわいい詩に陶板画が寄り添います。立体的だったり艶めいたり。ひと味違った世界です。



「メンドリと赤いてぶくろ」
安東みきえ 作
村尾 亘 絵
KADOKAWA 1,650円

自分の方が立派だと思っていた「右のてぶくろ」。朝一番に鳴きたくてオンドリをまねてみたメンドリ。そんな2人?が出会いました。



「おもち」
彦坂有紀 もりといずみ さく
福音館書店 990円

おもちがちりちり焼けていきます。ぷう、ぷくつとふくらみます。この絵が木版画だということにビックリです。



「いってきます」
エミール・シェール 作
チン・レン 絵
野坂悦子 訳
化学同人 1,980円

仕事に家事に忙しいママ。親子の会話は「メモ」が大活躍。セリフそのままに生き生きとして、そして素直な気持ちを伝え合う。



「ねこまたごよみ」
石黒亜矢子
ポプラ社 1,650円

妖怪ねこまたの一年は如月(2月)から始まります。人間界とそっくりな年中行事を追いながら、五つ子ちゃんの成長も描かれていて隔々楽しめます。



「王さまのお菓子」
石井睦美 文
くらはしれい 絵
世界文化社 1,650円

フランスでは1月になると、お気に入りのお店の、お気に入りのパイで、家族や友人と新しい年を祝うのだそうです。お楽しみはパイの仕掛け!

※金額はすべて税込です

大人コース



「おおきなかぜのよる」
阿部 結
ポプラ社 1,760円

窓の外はひゅーひゅーとスゴイ風。りくには風が遊ぼうと言ってるみたいに聞こえます。突然、風がりくもオモチャも夜の世界に連れ出した!!



「あるヘラジカの物語」
星野道夫 原案
鈴木まもる 絵と文
あすなる書房 1,650円

アラスカの動物や人の暮らしを記録する星野道夫さんが遺した写真。二頭のヘラジカの角が絡み合ったまま骨になっています。この写真から友人である鈴木まもるさんが物語を想像し、迫力ある絵本にしました。

どうしてこうなったか…残酷だけれど仕方がない「大自然の法則」が繰り広

げられ、厳しい現実緊張しながらページをめくります。そうやって命はつながっていった…ということにを壮大にみせてくれます。

自然の循環の中にあること、命への感謝…日々の生活から遠のいてしまっていることを反省しつつ読みました。(さつき)



(写真) 星野道夫

新刊紙芝居



「ねこのでしになったトラ」
脚本 津田真一
絵 和歌山静子
童心社 2,090円 12場面

のろまでぶきつちよなトラはネズミに馬鹿にされていた。そこでネコの弟子になって猛特訓。自信が出てきたところで…



「みんなでげんきなななくさがゆ」
脚本 やすいすえこ
絵 土田義晴
童心社 1,540円 8場面

日本の伝統食を伝える季節の紙芝居